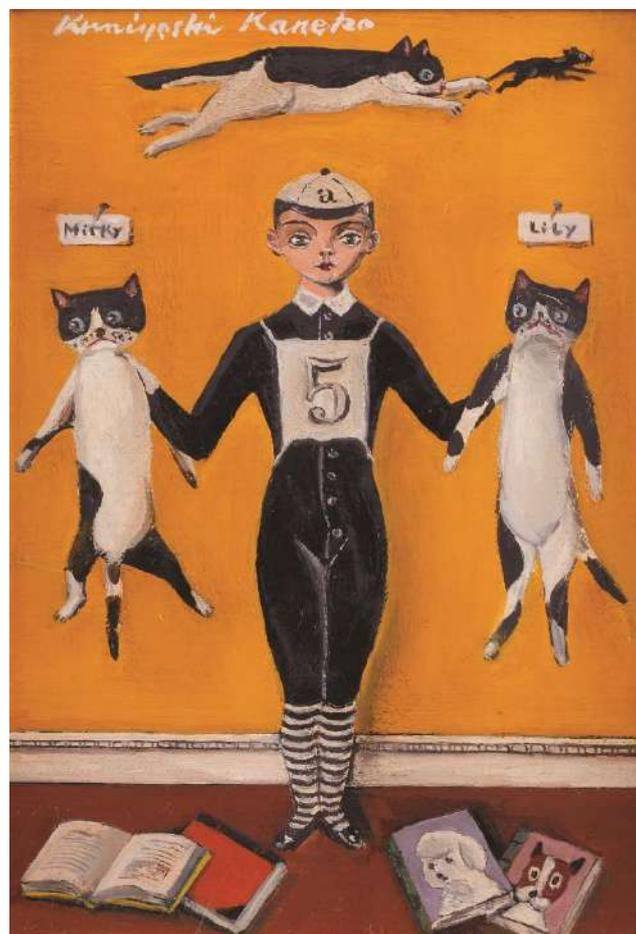


2022年1月吉日
笠間市笠間 978-4
公益財団法人日動美術財団
笠間日動美術館

プレスリリース

藤沢市所蔵 招き猫亭コレクション
猫まみれⅡ
3月19日(土)～5月15日(日)



金子國義「Micky & Lily」2002年 油彩・キャンバス

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて当館では2022年3月19日(土)から5月15日(日)まで、「藤沢市所蔵 招き猫亭コレクション 猫まみれⅡ」を開催いたします。つきましては、以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

■開催趣旨

東日本大震災にみまわれた2011年の夏、人々に癒しをもたらした「猫まみれ展」が、さらなる収集品を加えて笠間日動美術館に再びやってきます。愛くるしさ、しなやかさ、野性、神秘…古来より人は、猫が持つさまざまな面に魅せられてきました。「招き猫亭コレクション」は、猫に魅せられたご夫妻が40年にわたって蒐集した、猫をモチーフとする美術作品群です。

本展では、歌川国芳の浮世絵や、レオナルド・フジタ、横尾忠則らをはじめ猫に魅せられたアーティストによる古今東西の作品100点余りを紹介いたします。

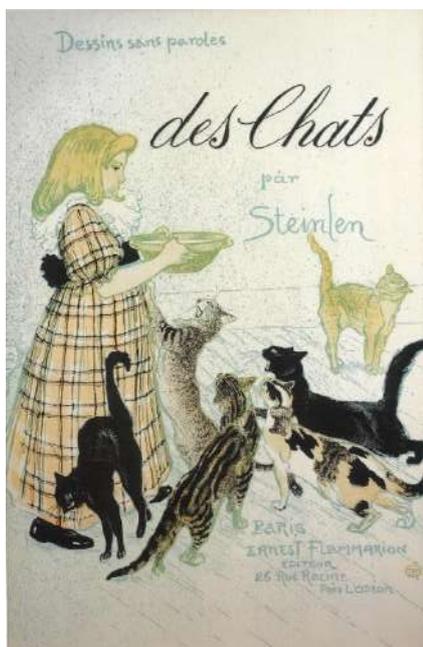
人々の心をとらえて離さない猫の魅力を、アートを通してご堪能ください。

■展覧会構成

第1章 招き猫亭コレクション

コレクション形成の端緒となったテオフィル・アレクサンドル・スタンランの作品をはじめ、レオナルド・フジタなどの作品を展示し、招き猫亭コレクションについてご紹介します。また、猫は人の生活に溶け込み、親密な関係を築いてきたことから、人に寄り添う姿や暮らしの中で見せるしぐさを描いた作品を展示します。

出品作家：高橋弘明、斎藤真一、金子國義、松井ヨシアキ、木下晋、笈本生、安元亮祐 他



左：テオフィル・アレクサンドル・スタンラン《猫と少女》1898年 リトグラフ・紙

中：高橋弘明《ジャパニーズ・ボブテイル》1924年 木版・紙

右：籾内佐斗司《尻上がり寧子》1993年 ブロンズ

第2章 にほん猫模様

擬人化など、日本において猫は多様な姿で描かれてきました。浮世絵をはじめとして、養蚕の盛んな土地で鼠除けのお守りとして飾られた新田猫のほか、江戸・明治・大正の画家による作品を中心に展示します。

出品作家：歌川国芳、小林清親、岸田劉生、椿貞雄 他



左：歌川国芳《猫の百面相》1840年代 大判錦絵

中左：歌川芳幾《予はなさけ浮名の横ぐし》1860年 大判錦絵

中右：楊州周延《蚕まじない（ねずみよけの図）》石版画

右：椿貞雄《たま寝る図》1930年頃 墨画着色

第3章 猫百態

猫は、人間の生活のパートナーであると同時に、芸術家にとって魅力的なモチーフであり続けてきました。画家によって自由自在に変化する猫の姿をお楽しみください。現代作家による版画作品を中心に展示します。

出品作家：浜田知明、駒井哲郎、朝倉摂、鬚嘔、横尾忠則、山本容子 他

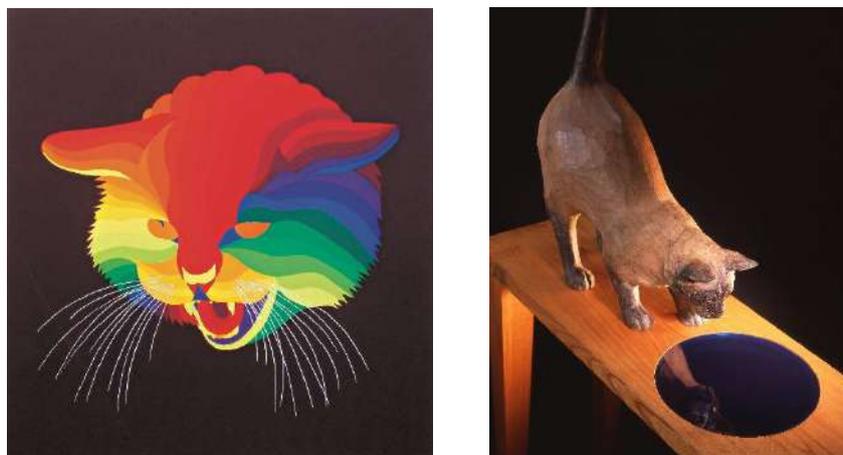


Photo: KATSURA ENDO

左：鬚嘔《怒》2001年 シルクスクリーン・紙

右：大森暁生《月夜のテーブル —Burmese—》2014年 楠、樺、漆、彩色、ガラス

■ 会期中のイベント

- ・ギャラリートーク

3/21 (月・祝)、4/16 (土)、5/5 (木・祝) 各回 14 時～ (30 分程度)

参加費：無料 (要入館料) / 場所：企画館

■ 展覧会概要

- ・展覧会名 「藤沢市所蔵 招き猫亭コレクション 猫まみれII」
- ・会 期 2022年3月19日(土)～5月15日(日)
- ・会 場 笠間日動美術館 企画展示館(茨城県笠間市笠間 978-4)
- ・開館時間 午前 9 時 30 分より午後 5 時(入館受付は午後 4 時 30 分まで)
- ・休 館 日 毎週月曜日(ただし、3月21日(月)、5月2日(月)は開館。3月22日(火)休館)
- ・入 館 料 大人 1000 円、65 歳以上 800 円、大学・高校生 700 円、中小生無料
- ・割 引 20 名以上の団体は各 200 円割引、
障害者手帳をお持ちの方、その同伴者 1 名は各半額割引
- ・主 催 公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館
- ・特別協力 藤沢市
- ・後 援 茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会／茨城放送
茨城新聞／朝日新聞水戸総局／産経新聞水戸支局／東京新聞水戸支局
毎日新聞社水戸支局／読売新聞水戸支局／東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

■ 交通案内

[JR 利用]

- ・常磐線友部駅北口(9:50/10:50/11:50 発)より『かさま観光周遊バス』(100 円)または市内循環バスで約 15 分。「日動美術館入口」下車徒歩 1 分
- ・水戸線笠間駅より徒歩約 25 分(日動美術館・春風萬里荘共、但し方向は逆)
『かさま観光周遊バス』または『レンタサイクル』の利用が便利です。

[自動車利用]

- ・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道 355 号線経由約 6 km
- ・東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道 50 号線経由約 8 km

■ 問い合わせ先

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館

TEL: 0296-72-2160 / Fax: 0296-72-5655 / Website: <http://www.nichido-museum.or.jp/>

担当: 長谷川・川崎 Email: hasegawa@nichido-museum.or.jp

hasegawamidori310@gmail.com